

平成14年度アマノリ養殖概況

團 昭紀

平成14年度漁期の概況は10月下旬から育苗が開始され、11月上旬にはほぼ終了した。本養殖は県南部漁場と吉野川河口の一部で11月上旬から開始されたが、ほとんどの漁場で11月下旬に単張りが始まった。12月上旬には第1回目の摘採が開始され病害もなく順調な生産となった。1月末からは冷凍網に順次張り替えられていったが、栄養塩の低下が生産に影響を与えた。2月中旬には栄養塩の低下が特に激しい南部漁場では生産が中止となり、吉野川の主力漁場でも色落ちが進行した。3月に入り、栄養塩が回復傾向となりノリの色調も回復した。

平成14年度漁期の共販枚数は2億11百万枚（前年比101%）、共販金額は19億5百万円（101%）であった。

1 平成14年度漁場環境状況

「海域藻類養殖漁場環境調査」のとおり。

2 平成14年度漁期の共販結果

図1に平成13年度、14年度の月別徳島県漁連共販枚数を示した。平成14年度2月に栄養塩の低下により枚数が前年に比べ落ち込んだ。図2に年度別共販枚数と平均単価の推移を示した。

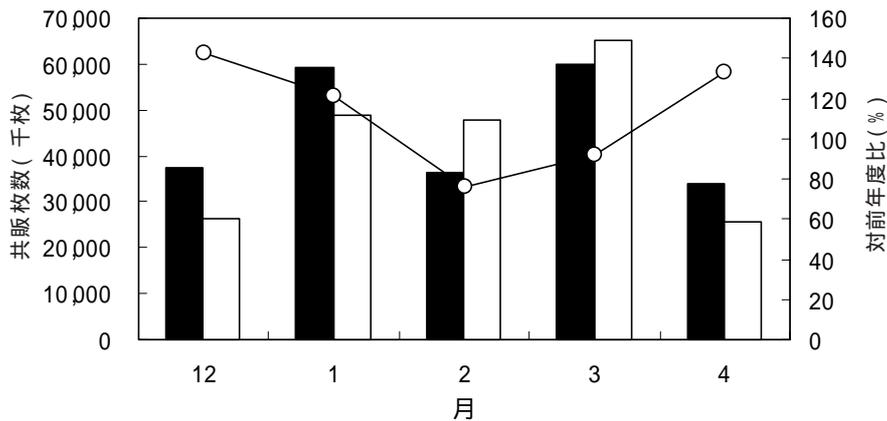


図1 月別共販枚数の推移。 ，平成14年度； ，平成13年度； ，対前年比

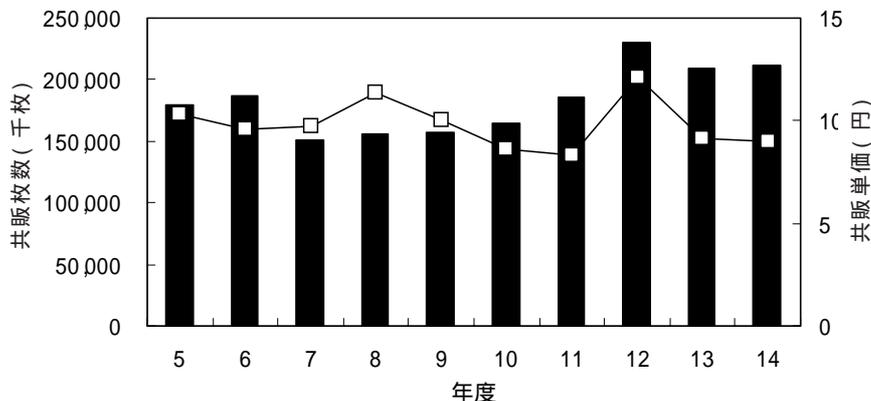


図2 年度別共販枚数と平均単価の推移。 ，共販枚数； ，共販単価